

# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

## No. 31

- ★ 来館者の方からの質問事項をもとに昭和館図書室の図書を紹介します。  
(書名の後の( )内の数字は請求記号です。)

**問** 女学生の学徒動員について。

**答** キーワードとして、「女学生」\_「<sup>ｽｸｰﾙ</sup>動員」あるいは「女子」\_「<sup>ｽｸｰﾙ</sup>学徒動員」などを組み合わせて検索します。

例えば

図書・雑誌 → 図書 → ことば → 女学生 動員 (45件該当)  
※(女学生→空白→動員)と入力します。

『女子学徒の戦争と青春』(210.75 055 開架)  
『女たちの昭和史』(367.21 066)  
『戦時下にくらした女性たち』(367.21 To46)  
『別冊歴史読本 女性たちの太平洋戦争』(210 B39 19-5 開架)

また個人の記録・手記では

『学徒動員のころ』(916 N37 開架)  
『飛行機工場の少女たち』(916 To46)  
『戦時下の女学生時代』(916 Ma79)  
『あゝ紅の血は燃ゆる』(916 D89)  
『ああ学徒動員青春の思い出』(916 G16)  
などがあります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

最近は文庫や新書が大繁盛で、既に文庫も新書も持っている出版社が、屋上屋を重ねるように新しい文庫新書を出しています。岩波に今更新しい文庫なんか要らないと思うのですが、どうでしょう。学研が始めた文庫も、なんとなく泥臭いデザインで「ウーン、もうチョット」と言った気になります。

これと反対に、従来の文庫の中で、新シリーズとして新しい展開をしているのが、中央公論新社の「中公文庫ビブリオ」でしょう。無論文庫ですから既刊の著作の再刊には違いないのですが、極めてユニークな選書が目を行っています。その上、帯の文句が凄いです。ダライラマの自伝「チベット我が祖国」の帯、「私には釈尊との約束が有る」には思わず唸りました。

また、文庫がはやると困ることがあります。それは、元どおりのタイトルなら良いのですが、文庫化にあたって、タイトルを付けなおすことが少なくないのです。注意して元版の確認をしないと、「オッ面白そうでな・・・この著者、こんな本書いていたかな??」と思いながら買ってしまい、読み始めると、「アレ??、どこかで読んだ話だな」と思い、家に帰ると、元版のハードカバーがちゃんと有ったりすることがあるのです。不注意と言えばそれまでですが、思わず「そりゃ無いよ」と言いたくなります。

この文庫戦争とでも言いたくなる状況は、出版社のモラルにも悪影響を与えています。毎月どんどん出すために、たちまち良い本が無くなってしまい、昔の本の中から文庫化出来そうな物を奪い合いのように探すことになるのです。このために、単に版權が切れているからと言った理由で、元版の出版社に一言の挨拶も無く文庫化をすると言う、昔なら考えられないようなマナー無視の出版が、日本を代表するような出版社でも行われているのです。残念なことですが、読者としては、どんな形にせよ、良い本が出るのは良いことですが、やはり、「本は普通の商品とは違う」と思っ作って欲しいものです。 (午睡)

— 函書室から —

冬真っ盛りだというのに、なんだか春のような暖かい日もあったり…。昔はもっと寒かったような気がしませんか？ 昭和館は連日、社会科見学の小中学生の熱気にあふれています。

\* 2月15日(金)～28日(木)まで休室します。

4階函書室及び5階映像・音響室は資料整理のため休室いたします。ご了承ください。

なお、6・7階常設陳列室、1階の「懐かしのニュースシアター」は通常どおりご覧になれます。

ぶらりらいぶらりい ～函書室にはこんな本があります～ No. 31  
2002年1月24日 発行  
編集・発行 昭和館 函書室  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1